

# 長崎大学 NEWS

納得できる進路決定を  
サポートします

NEWS 1

## 高校生と大学をつなげる 一体的な取り組みがスタート

### ナガツナ(長崎大学とつながるブログ)公開

これまでも教育活動や入試広報など、多方面で高校生とつながる取り組みを行ってきた長崎大学。今後は、高校生にとってより身近な大学になるためにどのように取り組みを拡大するのか、高大接続・入試広報担当副学長に就任した濱田久之教授にお話を伺いました。「早速、県内各高校を直接訪問して要望を伺っていますが、やはり大学からの情報の一元化が必要とされています。高校生に必要な情報をきちんと届けられるよう、高校とも連携を深めつつ、より大学生の『生の声』を伝えられるようにしていきたいです」。

情報発信の一環として、新たに濱田先生が「ナガツナ(長崎大学とつながるブログ)」を公開。長崎大学に関する幅広い情報を毎日更新しています。「学部によってはまだまだ知られていない情報や魅力がたくさんあるので、皆さんの大学・学部選びの参考になる情

報を掲載していきたいです。また、ある大学生の一日のスケジュールを紹介したり、高校生と年齢の近い大学1、2年生のリアルな情報を掲載したりしたいと考えています」。ブログだけではなく、TwitterやInstagramなどのSNSも開始する予定です。

「今後も県内各高校との連携を深めていくとともに、現役の長大生が高校生と直接語り合う機会を設ける予定」と濱田先生。「偏差値だけではなく、『長崎大学で〇〇を勉強したい』という目的意識を持って進路を決定できるような、将来を決める判断材料になる情報を提供していきたいと思います。幅広い学部の中にはきっと学生の理想に合う学びがありますし、長崎大学でしか学べないこともたくさんあります。まずはブログからチェックしてみてください」。

今後もSNSの情報発信に  
力を入れていきます

濱田久之 教授



入試広報や各学部の教育に関する情報はもちろん、大学内の心温まる出来事や豆知識も掲載。



ナガツナ

NEWS 2

## 学生のキャリアを 親身にサポート

### キャリアセンター

2019年10月に新設のキャリアセンターでは、「キャリア」を就職活動だけではなく学生の人生や生き方で広げて捉え、学生生活の早い時期から総合的に支援します。その一つが、1年次の選択必修科目「キャリア入門」。自分の強みを自己分析したり、在校生や卒業生の話や聞き取りして、自己理解を深めていきます。また、1年次後半から2年次の自由選択科目「キャリア交流」では、企業の若手社員や社長との座談会を実施。社会で働くことの意義や大切さを気軽に学ぶことができます。

その他、ボランティアやインターンシップの支援も積極的に行い、所属や年齢も異なる人と交流し、学生が主体的に自らの人生を切り開く能力を養う機会を設けています。井上徹志センター長は「3年生になってから就職活動を通して大きく成長する学生もいますが、1年次から将来について考え、自ら選択する力を養っておくことが大切です」と話します。

さらに、専門のキャリアカウンセラーによる相談窓口も開設。就職活動やインターンシップにおける自己分析やエントリーシートの相談・添削依頼はもちろん、有意義な学生生活の送り方や、広く「キャリア」に関する相談もできる頼れる存在。就職活動が始まる前から利用しておくことで、将来の進路に迷った際には強い味方になってくれます。



「キャリア相談」は、1人1時間の事前予約制。文教キャンパスでは月曜から金曜まで、片淵キャンパスでは火曜・木曜に相談できます。

長崎大学病院  
初期研修  
PR動画



上五島病院外来研修。

NEWS 4

## 研修医マッチング制度の 内定者が過去最多を更新

### 長崎大学病院の研修制度

医師を目指す学生は卒業後に初期研修医として第一歩を踏み出します。その受け入れ病院を決める研修医マッチング制度において、昨年長崎県の研修病院のマッチ者が126人となり、過去最多人数となりました。県と臨床研修病院で組織された「新・鳴滝塾」がマッチングの中心となり、医学部生に向けた説明会や交流会を開催し、県内研修病院における旅費も助成しています。

長崎大学病院においても、基本プログラム(定員51名)でフルマッチを達成。全国にある国立大学病院マッチ者数では8位、全国の基幹型臨床研修指定病院では1020病院中18位。その要因の一つが、大学病院ならではの専門性の高い知識だけではなく、一般症例まで幅広く学ぶことができる外来研修です。離島などの地域病

院で指導医のマンツーマン指導を受けられる機会や、臨床研修を熟知した専任教員による指導体制も充実。さらに、研修医1~2名に先輩医師が付いて相談役としてサポートする「メンター制度」もあり、さまざまな悩みを気軽に相談することができます。2020年度には初期研修制度が改定される中、各診療科間の連携が強く外来研修でも実績のある長崎大学病院は、来年度もフルマッチを目指しています。

また、広報活動も活発で、広報誌「キャリアの軌跡」やウェブサイト、ブログ、SNSなどで研修内容や病院の取り組みを発信。YouTubeで公開中のPR動画で流れているテーマソングは、研修医で結成されたバンド「びーとばーみにっつ」によるものです。研修医のリアルな姿を感じることができます。

上五島病院外来研修へ行くヘリ。



NEWS 3

## 頑張るあなたを応援します 入学時に入学料相当を給付

### 入学時給付奨学金制度

2020年度入学生から開始される新たな奨学金制度で、一般入試(前期日程)で優秀な成績を取った学生に対して、長崎大学が入学料相当の30万円を給付します。対象となるのは各学部の合格者上位20%以内に入っている長崎県内出身者および県外出身者トップの最大2名ずつ。給付時期は入学年度の4月に1回のみとなります。家計基準は特になく、情報データ科学部を含む9学部と医学部医学科・保健学科のそれぞれが対象となるので、より高い入試成績を目指し、長崎大学であなたの夢を実現させよう!

入学時給付  
奨学金制度





最新情報は  
新学部だけじゃない

# 長崎大学 NEWS

起業家マインドやスキルは、  
将来必ず役立つ日が来ます。  
学部1年次から、  
じっくり磨いていきましょう。

山下淳司  
センター長

上條由紀子  
教授

## NEWS 5

### この春本格始動する アントレプレナーシップ教育・研究拠点

#### FFGアントレプレナーシップセンター

学部生および大学院生を対象にしたアントレプレナーシップ教育・研究の実施と、大学発ベンチャー創出の支援という2つの柱を軸に、2019年10月、研究開発推進機構に開設された「FFGアントレプレナーシップセンター」。今年4月の本格始動を前に、カリキュラムの作成や講師の選定などの準備が進んでいます。山下淳司センター長と上條由紀子教授のお話です。「『アントレプレナーシップ』とは起業家精神を

意味する言葉です。これを踏まえ、教育プログラムでは、世の中の課題を解決すべく新しい価値創造に取り組む人材、未知の状況に面した時に自ら観察・分析を行い、必要な情報を集めた上で課題を解決できる、アントレプレナー人材を育成していきたいと考えています」。

起業家を目指す学生はもちろんですが、さまざまなキャリアを目指す学生にとっても興味深いプログラムになりそうです。

「大企業に就職しても、公務員になっても、あらゆる場面で起業家精神やリーダーシップが求められます。さまざまな夢を抱いている学生の皆さんが、将来社会人になり何か新しいプロジェクトや事業を起こそうとする時に活用できるマインドやスキルを磨き鍛える場にしていきたいですね。教育プログラムとしては、起業して現場で日々奮闘されているベンチャー企業の経営者に経験談を伺う科目、大学での研究成果たる技術シーズの事業化・実用化に必要な知識・スキルを学ぶ科目、新しい価値創造を実現するビジネスモデルの作成方法を学ぶ科目など、基礎から応用、実践までステップを踏んで学習できるカリキュラムを作成しています」。

12月12日に開催された「キックオフシンポジウム」では、基調講演とパネルディスカッションが行われました。



## NEWS 6

### 健康的な環境と生活で、 大学生活の質を向上

#### 長崎大学ヘルシーキャンパス・プロジェクト

「優れた教育と研究は心身の健康によって創造される」というコンセプトの下、学生や教職員の健康づくりを大学全体で促進することで、生活の質や学習・研究環境の向上を目指す、長崎大学ヘルシーキャンパス・プロジェクト。2018年7月にキックオフイベントが行われ、これまでさまざまな活動が行われてきました。

その一つが、大学構内の完全禁煙化です。すべてのキャンパスの学生だけではなく、教職員も対象となっています。学長特別補佐の調漸保健・医療推進センター長は「禁煙化はこれまでも大学病院や医学部などで行われてきましたが、重要なのは大学全体として取り組むことです。また、近年は企業の採用時に喫煙者を避ける動きもあります。そうした中で、大学全体として禁煙や生活の質の向上に取り組むことは、大学としてのブランド力にもつながると考えています」と話します。また、1年生の

必修科目の講義の中でもたばこの健康被害について解説し、大学生活の早い段階から健康に対する意識の向上を促します。

そして、特徴的な活動が、大学生協が中心となって開発した「ヘルシー弁当」の販売です。全18種類のおかずが日替わりで入っていて、塩分やカロリーを抑えた内容。日常的に手に取りやすい400円という価格も魅力です。「毎日約200食がほぼ完売していて、学生だけではなく教職員にも好評です。最初は少し物足りないくらいの量ですが、徐々に慣れていきますよ」と調漸先生。さらに、ヘルシー弁当に関連した、学生や教職員向けの栄養セミナーも開催されています。メンタルヘルスや食生活な

キックオフイベントでは学長による「健康宣言」が行われ、鈴木大地スポーツ庁長官をはじめ、健康やスポーツに関連の深い高田明さんらによる講演会や座談会が行われました。



健康的な内容で毎日でも  
飽きないお弁当です!



野菜たっぷり塩分控えめ、さらにおいしさも追求した「ヘルシー弁当」。大学生協で販売されており、毎日食べている学生や教職員もいるそうです。



## NEWS 7

### 大学院博士後期課程を 新設

#### 多文化社会学研究科

長崎大学大学院多文化社会学研究科の博士後期課程が2020年4月に新設されます。その教育内容や特色について、大学院多文化社会学研究科長の首藤明和教授に話を伺いました。「博士前期課程(修士課程)では、専門知識を基に、多種多様な文化・社会における理念や利害を俯瞰して捉える能力を学びます。そして、新設される後期課程では、その専門性をさらに深めるとともに、問題解決に向けた道筋を自ら見つける能力を養います」。研究領域は、社会文化研究系、言語研究系、環海日本長崎学・アジア研究系、公共政策研究系、核兵器廃絶・平和学系の5つ。学生を中心に、主指導教員と副指導教員の2名から成る研究

指導チームを編成します。「副指導教員のうち最低1名は主指導教員とは異なる研究領域から選出することで、学際性を担保します。また、研究テーマの変更が生じた際にも臨機応変に対応できる体制を整えています」。

さらに、学生の研究テーマを考慮し、必要に応じて、ライデン大学や国際基督教大学、東洋文庫、国立歴史民俗博物館など、世界トップクラスの教育・研究機関から学外アドバイザーを選出。合同中間発表会のオブザーバーや学位論文審査の副査として、研究指導に参画します。首藤先生は「国際的発信能力を備えた研究者や高度専門職業人の養成を目指します」と今後の目標を語ります。



博士前期課程2年生による修士論文中間構想発表会の様子。

修士論文の提出に向けて  
研究もラストスパートに入りました!



2018年に開設された研究科博士前期課程に在籍中の2年生の皆さん。